

「相談事業担当者・相談事業管理職向け研修」

2018年度 実施報告書

特定非営利活動法人全国女性会館協議会御中  
 下記のとおり、報告いたします。

報告日 2018年 12月 18日

1 施設概要

施設名	秋田県中央男女共同参画センター	
代表者名・職名	佐藤 加代子（センター長）	
住所	〒010-0201 秋田県秋田市中通 2-3-8	
	電話 018-836-7853	FAX 018-836-7854
担当者名・職名	佐々木 美奈子（副センター長）	
	E-mail akitawmc@alpha.ocn.ne.jp（センター代表） mhminako@ybb.ne.jp(佐々木)	

2 事業の概要

事業名	女性の相談に携わる人のための実践研修 ～相談事業のシステム化・機関連携・相談スキルの向上を目指して～
趣旨、ねらい	男女共同参画関連施設や地域の相談事業の質的向上と、各機関の連携を図り機能を充実させるとともに、参加者が相談事業を取り巻く課題やその解決方法に共通認識を持つ。
対象者と定員	男女共同参画センター相談員や相談担当職員、各相談機関の相談員や職員等、相談事業に携わっている方 30名
実施日	2018年11月18日（日）、19日（月）
プログラム概要	<p>11月18日（日） 13:00～17:00</p> <p>【開催挨拶】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全国女性会館協議会 代表理事 納米恵美子さん</li> <li>・秋田県中央男女共同参画センター センター長 佐藤加代子</li> </ul> <p>【オリエンテーション】</p> <p>担 当/佐々木美奈子（秋田県中央男女共同参画センター）</p> <p>【研修Ⅰ・男女共同参画センターの相談事業と相談業務のシステム化について】</p> <p>講師/納米恵美子さん(全国女性会館協議会/横浜市男女共同参画推進協会)</p> <p>【研修Ⅱ・相談業務における取組の報告】</p>

	<p>報告者／もりおか女性センター 副センター長 高橋和佳子さん 青森市男女共同参画プラザ 館長 千田晶子さん</p> <p>【研修Ⅲ・相談業務における課題抽出と解決に向けて】グループワーク 進行／佐々木美奈子（秋田県中央男女共同参画センター） 講評／米山奈奈子さん（秋田大学大学院医学系研究科 教授）</p> <p>11月19日(月) 9:30～15:15</p> <p>【1日目のふりかえり】</p> <p>【研修Ⅳ・関係機関の連携による支援と相談の実際について（事例検討）】 講師／米山奈奈子さん（秋田大学大学院医学系研究科 教授）</p> <p>&lt;昼食・休憩&gt;</p> <p>【研修Ⅴ・よりよい支援と更なるスキルアップのために】 講師／米山奈奈子さん（秋田大学大学院医学系研究科 教授）</p> <p>【終了の挨拶／アンケート記入】 ・全国女性会館協議会 代表理事 納米恵美子さん</p>
実参加者数	25名（18日21名、19日23名）
アンケート結果の概要	アンケートの集計結果は別に添付する。
担当者所感	<p>先ずは2日間に渡る研修を開催できたことに安堵している。</p> <p>かねてより、女性相談の背景にあるジェンダー不平等による課題や女性の生きづらさを地域の相談機関で共有出来ていないと感じることが多く、またDVや性暴力、虐待等の暴力被害の深刻さへの無理解がさらなる生きづらさや困難さを生じさせていると感じてきた。そのため、男女共同参画の視点で、相談者の課題を捉えなおしながら、男女共同参画センターの相談室の役割や特徴を参加者と認識できる機会をもったことは、地域の男女共同参画センターとして有意義であった。</p> <p>また他機関の取組を参考にしながら、それぞれの機関の業務を見直すことが出来たことも良い機会になったと感じている。特に予算や人員に限りある中で相談業務に携わる職員のスキルを活かすためにもシステム化を進めていくことは必要なことであると同時に、改めて相談業務が男女共同参画センターの主軸を支える部分だと参加者で確認できたのではないだろうか。</p> <p>今回は県外からの参加も多くあったが、県内の参加がもっとあれば良いと思った。また、参加者のアンケートでは資料やプログラム、時間配分等にご意見をいただいた。そういった課題や意見を今後の研修会等の開催に役立てたいと考えている。</p>